

大震災・復興ニュース（第9報）

平成23年6月17日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果（6月測定分）について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり東北大学の協力を得て放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

採取日	採取場所	種別	放射性ヨウ素 [ベクレル/kg]	放射性セシウム [ベクレル/kg]
6.5	松島地先	アサリ	不検出	6.9
6.6	仙台市沖	ヒメエゾボラ（ツブ）	不検出	3.6
	仙台湾	マガレイ	不検出	不検出
	仙台湾	クロメバル	不検出	6.7
6.9	白石川（白石市）	ヤマメ（天然）	不検出	114
	内川（丸森町）	ヤマメ（天然）	不検出	305
6.14	歌津沖	スルメイカ	不検出	不検出
	雄勝町峠崎地先	マボヤ	不検出	不検出
	仙台湾	スズキ	不検出	18.5
6.15	阿武隈川（丸森町）	アユ（天然）	不検出	227
	白石川（柴田町）	アユ（天然）	不検出	64

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

県管理漁港内及び漁場の啓開(けいかい)作業状況（担当：漁港漁場班，水産振興班）

県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業は、

- ・磯崎漁港は、6月6日から再開し、6月10日完了した。
- ・塩釜漁港越の浦地区への航路の啓開作業は、7月1日から作業予定。
- ・漁場の啓開作業は、5月23日から松島湾で着手し、潮位の関係から七ヶ浜沖と並行して2台の起重機船で作業を行っている。

バックハウ台船は、6月14日から松島湾の東名地区で作業を行っている。

また、仙台湾漁場へは6月27日の週から着手予定。

- ・仙台湾の測量作業は、3割程度完了。今後引き続き残りの漁場の調査を実施していく。

漁港の応急復旧状況（担当：漁港漁場班）

- ・荒浜漁港の海岸堤防の応急工事については、阿武隈川河口から南側約900m区間を1次応急工事

として大型土のうによる仮締切堤を4月27日から着工し、TP2mまでの作業は完了している。台風2号による高潮による越波の影響があったことから決壊している堤防2箇所の嵩上げを3段階みにした。

- ・荒浜漁港南導流堤基部の決壊箇所の閉塞工事については、現在工事用車両進入のための仮設道路工事を実施するための準備工に着手した。
- ・磯崎漁港長田地区の臨港道路の舗装補修等については、7月から実施予定。
- ・桂島漁港のトイレの復旧工事は、6月13日に着手し14日に完了した。

種ガキ調査が始まる（担当：水産振興班）

今年の種ガキ調査は、石巻湾に加え、万石浦及び松島湾を追加して実施する。6月20日に予備調査を行った後、28日から行う予定。

調査項目は、浮遊幼生調査、付着幼生調査、熟度調査で、水産技術総合センターと各水産漁港部で協力して行い、調査結果は通報として発行される。

<トピックス>

兵庫県庁からの取材

現在、兵庫県から災害派遣のため2名の方が水産漁港部に在籍しています。県内にはその外に南三陸町、石巻市、大河原土木事務所に派遣されています。

兵庫県広報課の方3名が、6月16日被災地の現状や課題について、取材に来ました。

災害派遣半月を振り返って

この度、兵庫県から災害復旧応援のために当部に派遣され、漁港の復旧に係る業務をして頂いている2名に、これまでを振り返っての感想などを聞いてみました。これからもよろしくお願いします。

松村主任主査

6月1日に宮城県仙台地方振興事務所（水産漁港部）に派遣になり、半月が経ちました。

これまでに県管理の5漁港と市町管理の5漁港の現況を確認しましたが、いずれの漁港やその背後地は、想像していたものを遙かに超えた被災状況であり、改めて津波の恐ろしさを再認識するとともに、本復旧のための災害査定とその後に続く復旧事業の実施に全力で携わりたいと思います。



松村俊宏さん

山崎課長補佐

被災された漁師の皆さんが漁の再開に向けた準備を始めているというニュースを聞くと、こちらも頑張らねば！という気持ちになります。

一日も早い漁港の復旧が、宮城県の水産業とそれに携わる人々の生活の復興につながると思いますので、精一杯やります。



山崎績さん